

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月1日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【海水放射線モニタの計画外停止について】 協力企業作業員が海水放射線モニタ用空調機(1)(2)交換作業中に、海水放射線モニタが計画外で停止した。当該放射線モニタが停止したことにより、当社ホームページに掲載している海水放射線モニタ測定データも欠測していることを確認。 空調機(1)(2)交換後に、空調機側の冷却水バルブを開放したことに伴い、検出槽側の流量が規定値未満に低下したことにより、サンプル取水ポンプが自動停止したものと推定。 サンプル取水ポンプ等を起動し、検出槽側および空調機側の流量が規定値となるよう調整を実施し、海水放射線モニタの復旧、問題がないことを確認。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	G II	1月26日
2	<p>【海水放射線モニタ用空調機(2)のフロン漏えいについて】 協力企業作業員が海水放射線モニタ用空調機(1)(2)の交換作業のため、既設空調機(2)の冷媒圧力を確認したところOMPaとなっていることを確認。 総充填量が漏えいしたものと推定。 空調機(1)(2)の交換は実施済み。 今後、フロンの漏えいした原因について調査予定。 ※海水放射線モニタ用空調機(1)については、フロン漏えいを2019年7月24日に発見し、2019年7月26日のパフォーマンス向上会議で審議済み。 【件名:海水放射線モニタ用空調機(1)の故障について】</p>	G III	1月26日
3	<p>【5号機中央制御室空調機(A)の冷凍機クランクケースヒータの不具合について】 協力企業作業員が、5号機中央制御室空調機(A)の試運転時に冷凍機クランクケースヒータの温度測定を実施したところ、クランクケースの温度が室温と同程度であり、暖機されていないことを確認。 断線等が確認出来ないことから、クランクケースヒータ本体の動作不良と推定。 今後、当該ヒータの交換および再発防止対策を検討予定。</p>	G III	1月26日
4	<p>【5号機硫酸第一鉄注入タンクの水面計内浮子の動作不良について】 当直員が、5号機硫酸第一鉄注入タンクの水張り時に、タンクの水面計内の浮子が底部で固着し水位を指示していないことを確認。 浮子が沈んでいても、水面計の水面で水位の確認が可能。 今後、水面計の点検・清掃予定。</p>	G III	1月27日
5	<p>【サブドレン浄化設備の待機側供給タンク(A)の水位上昇について】 当直員が、サブドレン浄化設備の浄化運転再開時、サブドレン浄化設備の待機側供給タンク(A)の水位上昇を確認。調査の結果、処理装置供給ポンプ(A)入口弁を全閉にしたところ、水位上昇が停止したことから、処理装置(A)入口弁および供給ポンプ(A)出口逆止弁のシート漏えいと推定。 今後、シート漏えいが確認された弁を点検予定。</p>	G III	1月27日
6	<p>【地下水バイパス揚水井(A)のフランジ面の腐食について】 協力企業作業員が、地下水バイパス揚水井(A)の点検を行ったところ、揚水井上蓋付属配管・揚水用配管フランジ面に腐食を確認。 シール面が確保できることから、液状ガスケット(※)による手入れ後、現状復旧予定。 前回の点検記録に腐食についての記録がなく、進展可否が不明なため、今回の点検より腐食の記録作成を行い、継続監視予定。 ※液状ガスケット:配管等内部からの漏れを防止するため、接合面に塗布するシール効果のある流動性のあるシール材</p>	G III	1月27日
7	<p>【地下水バイパス揚水井(A)のサンドセパレータ吸入配管フランジ面の腐食について】 協力企業作業員が、地下水バイパス揚水井(A)の点検を行ったところ、サンドセパレータ吸入配管フランジ面に腐食を確認。 シール面が確保できることから、液状ガスケット(※)による手入れ後、現状復旧予定。 前回の点検記録に腐食についての記録がなく、進展可否が不明なため、今回の点検より腐食の記録作成を行い、継続監視予定。 ※液状ガスケット:配管等内部からの漏れを防止するため、接合面に塗布するシール効果のある流動性のあるシール材</p>	G III	1月27日